Ⅳ 小児～若年(AYA)世代のがんについて

1 小児～若年(AYA)世代のがんへの対応方法を知りたい

小児～若年世代の方は、病気についての悩みに加え、学校、仕事、子育て、きょうだい、治療後の長い人生における晩期合併症など悩みは多岐にわたります。また、患者ご本人や親も若く、精神的・金銭的負担が大きい場合もあります。まずは次の相談先などに悩みを打ち明けてみてください。



(1) 相談する

市内には、地域全体の小児～若年世代のがん医療及び支援の質の向上に資することや長期フォローアップ体制の整備などを担う、厚生労働大臣が指定した小児がん拠点病院があります。ひとりで抱えず早めに相談しましょう。
同病院の相談室では、病院にかかっていなくても相談できます。
治療だけでなく、①～⑤などの相談もできます。

◆小児がん拠点病院の小児がん相談室

医療機関	対面・電話	インターネット	住所・連絡先
静岡県立 こども病院 がん相談支援センター	受付時間 平日 9:00～16:30	24時間 入力可能	葵区漆山860 247-6278（直通）

① 学校
入院、治療中は「学校に戻れるのか」「進路はどうなるのか」といった不安を感じることがあります。復学や通学、進学をあきらめる必要はありません。学校との復学面談を設けてもらえたり、入院中オンラインでの授業受講や試験受験などの配慮が受けられたりすることがあります。ひとりで悩まずに周りの人たちの助けを借りましょう。

② 仕事
就職については、ハローワーク静岡（P15(1)③）にも相談してみましょう。仕事と治療の両立については、P15、16を参考にしてください。

③ 子育て
お子さんへの病気の伝え方などを含めP17、18を参考にしてください。

④ きょうだいへの支援
患者さんのきょうだいが不安定になることもあるため、対応について早めに相談しましょう。

⑤ 晩期合併症
治療後しばらく経ってから、治療に伴う合併症が出ることもあります。体調や精神面での不調があったら、早めに相談するようにしましょう。また、晩期合併症に備えて治療終了時には、使用した薬や照射放射線量などの治療歴を記録したフォローアップ手帳をもらっておき、適切なフォローアップを継続して受けるようにしましょう。

(2) 支援を受ける 支援制度一覧はP39-44をご覧ください。

① 妊よう性の温存
治療により、妊よう性（精子や卵子、精巣、卵巣などの生殖機能）に影響が出る場合があります。治療の前に精子や卵子などを凍結保存することで、妊よう性を温存する方法があります。妊よう性の温存にあたっては、がん治療の遅れが許容できるかなど、担当医などとよく相談する必要があります。
妊よう性温存の治療費は公的な医療保険は適用されないため全額自己負担ですが、一部を助成する制度があります。

◆ 若年がん患者等生殖機能温存治療費補助
43歳未満で要件を満たす方の精子、卵子凍結費や凍結した検体を用いた生殖補助医療費の一部が補助されます。

補助上限額（対象治療）	(1)卵子凍結　40万円　(2)胚（受精卵）凍結　40万円 (3)卵巣組織凍結　40万円　(4)精子凍結 2.5万円 (5)精巣内精子採取凍結 35万円　(6)(1)を用いた生殖補助医療　25万円 (7)(2)を用いた生殖補助医療 10万円 (8)(3)を用いた生殖補助医療 30万円 (9) (4)、(5)を用いた生殖補助医療30万円
補助率	補助対象経費の10/10（補助上限額を超えた分は全額自己負担）
回数	(1)～(5)　2 回まで　(6)～(9)　6 回まで
詳細URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s7463/s003153.html
問い合わせ先	市健康づくり推進課　221-5042

※「静岡県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法支援事業実施要綱」に基づく補助金の交付対象者は、県要綱に基づく補助金の額を減じた額が限度額です。

② 医療費の助成
◆子ども医療費助成（P９）**◆ひとり親家庭等医療費助成**（P10）
◆小児慢性特定疾病医療費助成（P12）

③ 予防接種の再接種
◆特別の理由による任意予防接種費補助金
治療などにより、 定期予防接種として接種した予防接種の効果が期待できないと医師に判断された20歳未満の方で、 一定の要件を満たす場合に、再接種費用が助成されます （要事前申請）。
問い合わせ先　市保健所　感染症対策課 249-3173

(3) 情報を調べる

◆がん情報サービス https://ganjoho.jp/public/index.html
（出典　国立がん研究センターがん情報サービス）
ライフステージ別の情報の中に、「小児がんの人へ」「AYA世代の人へ」があります。小児及びAYA世代それぞれに関する情報が掲載されています。